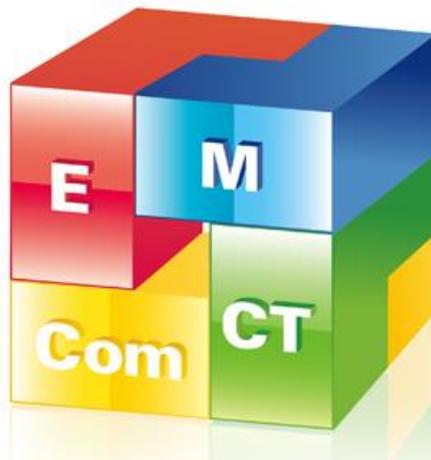


2020年3月期 第2四半期連結決算説明資料

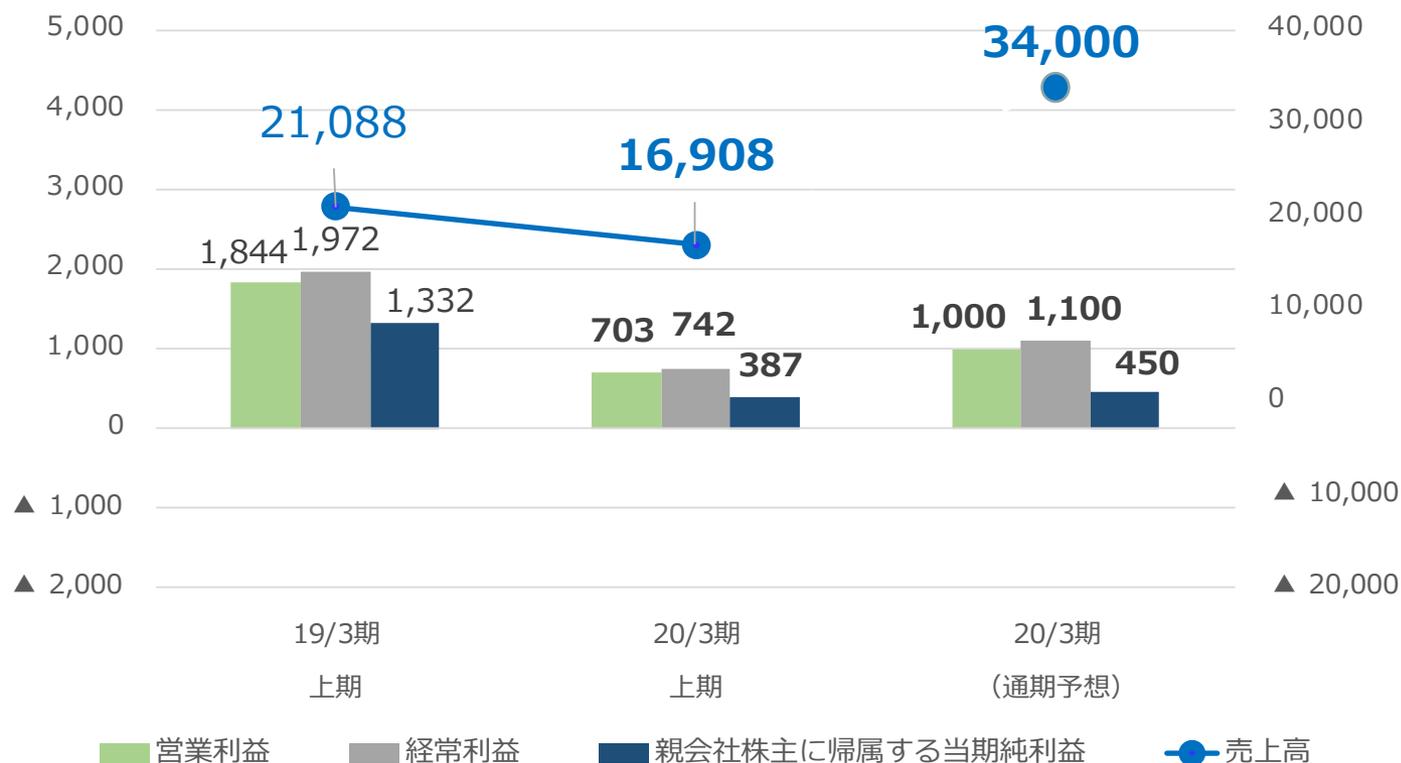
NEW オリジン *NEW* ステージ



2019年11月22日
株式会社オリジン
証券コード：6513

第2四半期累計決算及び通期業績予想

(単位：百万円)



- 20/3期上期は前期伸長したメカトロニクス事業が前年同期比大幅な減収減益
- 20/3期通期業績予想は前回発表の数値から修正なし

第2四半期累計決算

(単位：百万円)

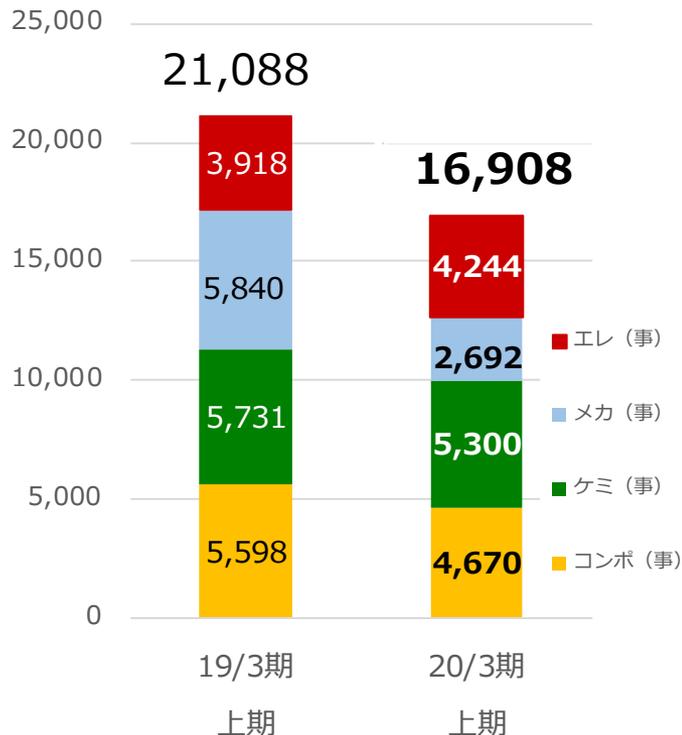
	19/3期 上期	20/3期 上期	前年同期 増減率
売上高	21,088	16,908	▲ 19.8%
営業利益	1,844	703	▲ 61.9%
経常利益	1,972	742	▲ 62.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,322	387	▲ 70.9%
		(単位：円)	
1株当たり四半期純利益	200.87	60.44	

- エレクトロニクス事業の売上高が伸長したものの、他3事業については減収減益となり、全体としても前年同期比大幅な減収減益

セグメント別売上高、セグメント別利益

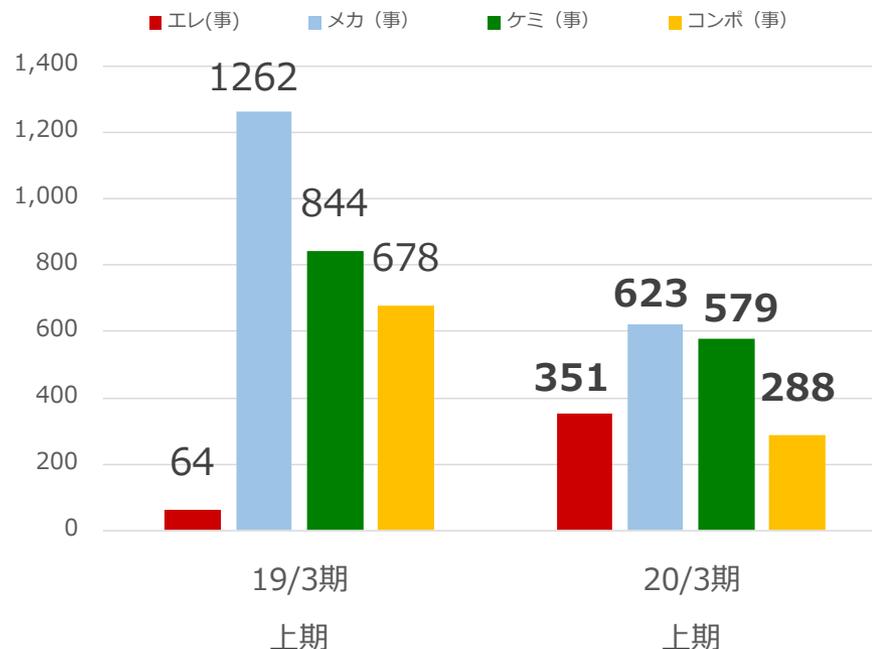
(単位：百万円)

セグメント別売上高



(単位：百万円)

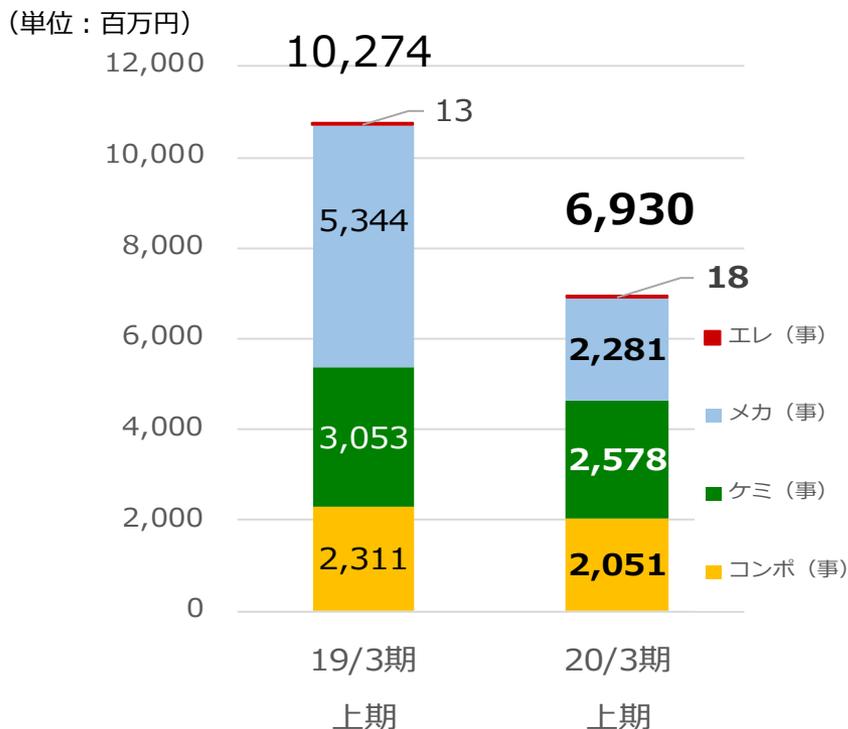
セグメント別利益 (全社費用配賦前)



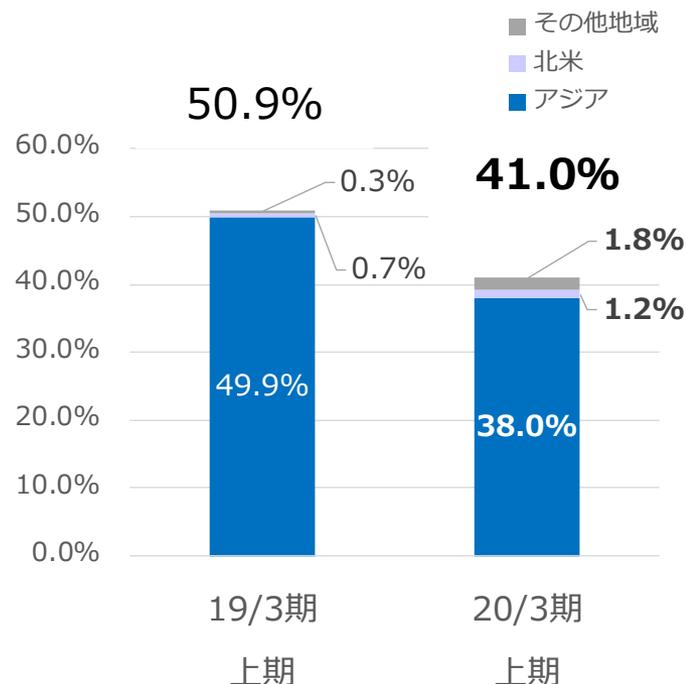
- エレ (事) : 環境対応用の高圧電源が伸長し増収増益
- メカ (事) : MDBが世界的なスマートフォン市場の成熟化による需要鈍化により大幅な減収減益
- ケミ (事) : 主力の自動車分野が売上減、加えて一部海外拠点の低調な売上等が影響し減収減益
- コンポ (事) : 装置産業向けが引き続き市況悪化の影響により低迷し減収減益

海外顧客向け売上高（セグメント別・地域別）

セグメント別



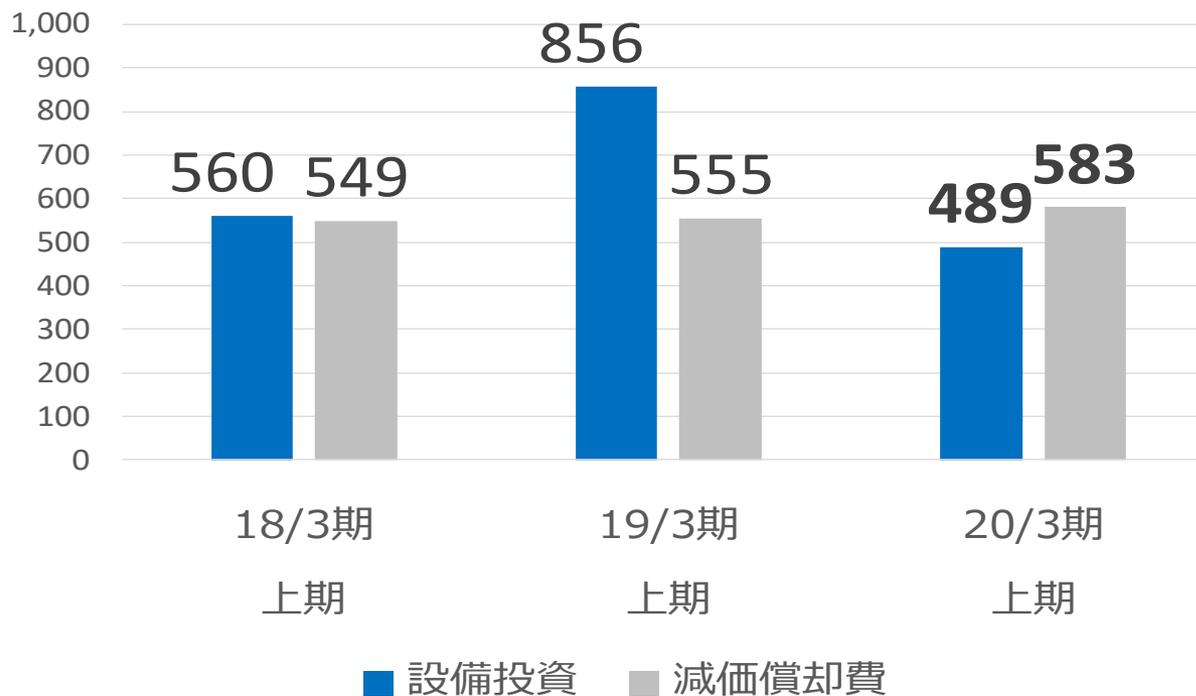
地域別



- 前期海外顧客向け連結売上高を押し上げていたメカトロニクス事業のMDB売上が減少し、海外顧客向け売上高・地域別のアジアが大幅減少

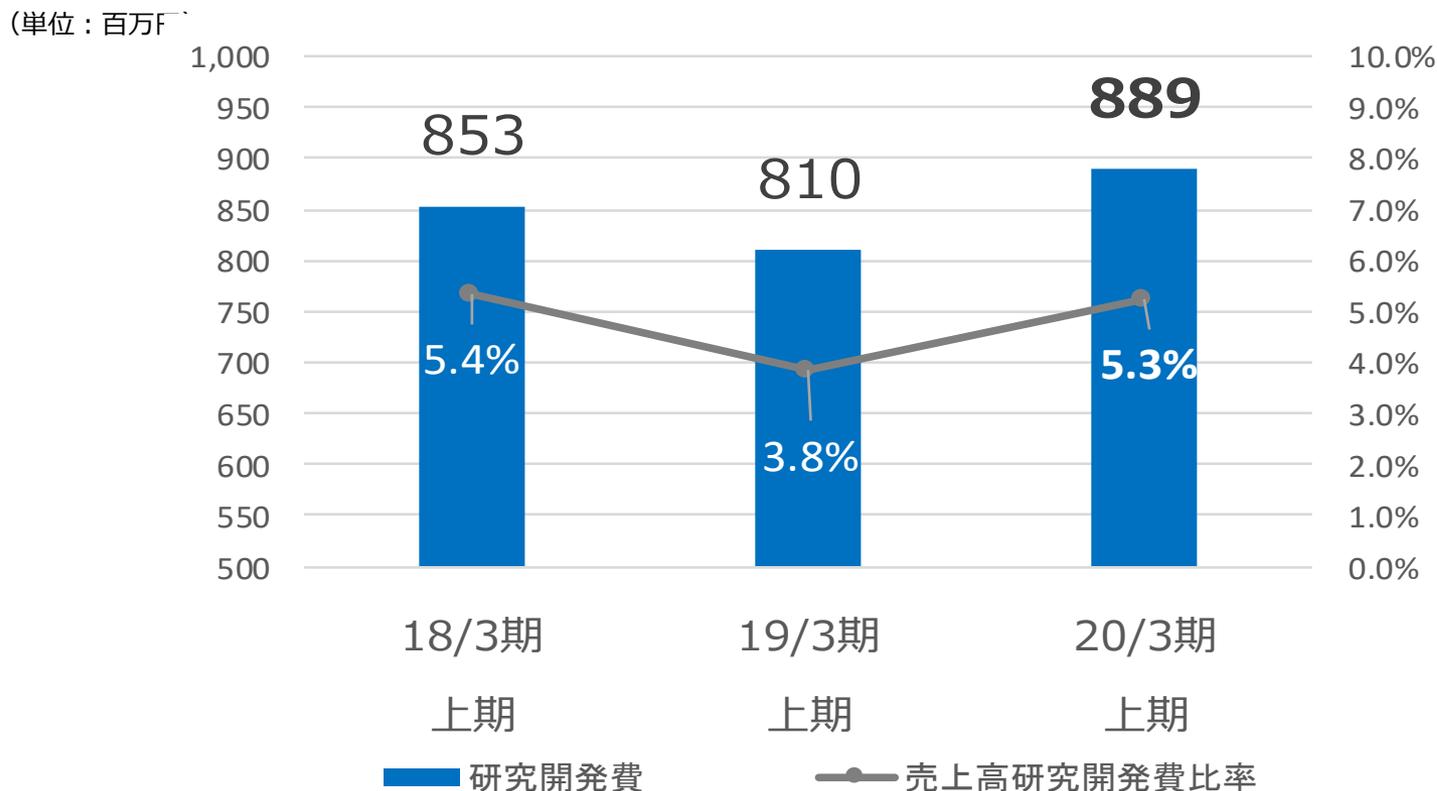
設備投資、減価償却費

(単位：百万円)



- 20/3期上期 主な設備投資
 - ・コンポーネント事業の自動組立機、自動検査装置
 - ・メカトロニクス事業の実験機

研究開発費、売上高研究開発費比率



- 20/3期上期の研究開発費は開発体制の強化に伴う人員増に起因
- 売上高減少に伴い、売上高研究開発費比率は1.5%増加

貸借対照表

(単位：百万円)

	19/3期 期末	20/3期 上期末	前期末 増減額
流動資産合計	27,162	25,927	▲ 1,234
固定資産合計	18,350	18,433	83
資産合計	45,512	44,361	▲ 1,151
流動負債合計	14,151	13,209	▲ 941
固定負債合計	5,951	5,718	▲ 232
負債合計	20,102	18,928	▲ 1,174
純資産合計	25,410	25,433	22
負債純資産合計	45,512	44,361	▲ 1,151
自己資本比率	50.0%	51.6%	1.6%

- 資産減少の主な要因：現金及び預金 6億27百万円減少
仕掛品 5億20百万円減少（主にメカトロニクス事業）
- 負債減少の主な要因：買入債務 9億12百万円減少

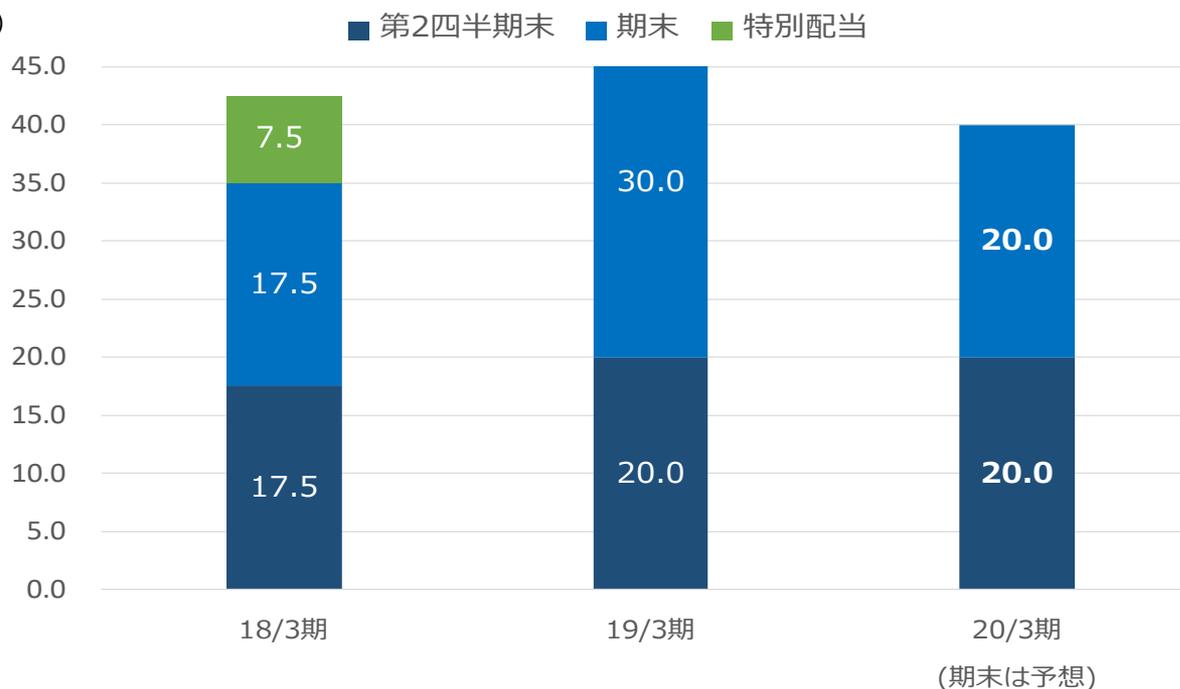
キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	19/3期 上期	20/3期 上期	前年同期 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	93	365	271
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 553	▲ 1,189	▲ 635
財務活動によるキャッシュ・フロー	821	▲ 210	▲ 1,032
現金及び現金同等物の増減額(▲減少)	318	▲ 1,089	▲ 1,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,394	5,331	▲ 63

配当の状況

(単位：円)



- 19/3期は業績等を総合的に勘案し、期末配当金1株につき30円
- 20/3期は業績見通し・外部環境の変化などを総合的に勘案し、1株40円を予定
 ※第2四半期末の配当については11月12日開催の取締役会にて1株20円で決議。
 期末の配当金については1株20円を予定。
- 〈自己株式の取得の終了〉2019年2月8日の取締役会決議による取得

2019年2月12日~3月31日	175,400株 (334百万円)
2019年4月1日~4月18日	24,600株 (51百万円)
合計	200,000株 (385百万円)